

神戸新聞には最新の情報が載っている。これからも
読みたいと思いました。文章の書き方とかメモのとり方
を学んで実践したいと思います。

「メモはキーマンをメモして、文章はまず最初にスペース
をあけろ！」このことを忘れずに、記事を書いたりし
ていきたいです。

インタビューでは、質問だけじゃなくて楽しい話も入れる
ことが大切だということも分かりました。

話を聞いて、インタビューや記事を書くことの中にも様々な技術や工夫があることが分かりました。思っていたより難しくなくて、分かりやすい内容だったので良かったです。

実際に、友達どうしてインタビューし合った時も"する側"や"される側" (や記録) を体験して、その難しさや楽しさが (一部だけだと思うけど) 理解できました。

元々そんなに関心を持っていなかった「新聞記者」だったけど、世の中の色々なことを素速くキャッチできることと、有名人に会えることを聞いて、少し心ひかれました。

私が今回学んだことで一番バに残っているのが写真の撮り方
です。いつもは写したいものを目立たせるために真ん中でとって
いました。三角形になるようにとったり、対角線上にとったりすること
を学びました。また、記者になったつもりでインタビューすること
は、いつも知っている子の意外な一面が見えておもしろかったです。
この授業を通して、新聞記者の仕事は、みんなに情報を伝えることはもちろん
しんどさや、やりがいも感じる仕事だということがわかりました。
これからはネット社会といわれていき新聞を目にする機会は減っていくかも
しれませんが、新聞にしかない長所を生かして、新聞が未来に受けつがれて
いくといいなと思いました。

今日は、三好先生のお話を通じて様々な新しい発見をすることができました。例えば、新聞は見出しも最初の方を見たりするだけで内容が分かるようにするために最初の方に重要なポイントなどをまとめると良いということが分かりました。そして、他にも新聞は取材がとつてもポイントになっているという事も分かりました。取材の時に重要な所を聞き逃してしまったり、書き忘れてしまったり、内容を忘れてしまったりすると、新聞が書けなくなってしまう、重要な所が抜けてしまったりするので、取材がとつても重要だということも分かりました。また、取材のメモは水性ではせずに、油性でなければならぬということも分かることができました。

私はイメコーの任事（話し事・質問の任事）などを教えてもらい、
今回のトライやるでも使えるし、日頃から目上の人としゃべる時などで
役に立つことは「かりだったのび」とも良いことを習えたな。と思っています。
特に話し事の所では、先輩や先生と話す時に相手の話す速度に
あわせるなど私はあまり意識していなかったことであるほど。と思ひ、
目上の人と話す時に役に立つな。と思ひ、実際にやってみよう。と思ひ
ました。質問の任事がメモリーも、色ロクツカあって18日に実際にでき
るよう覚えておきた。と思ひます。今日のことをいかりとほがして、
いけるようにドリとけいかくをわり質問する内容をかてに入しておきた。と思ひます。

今回インタビューの仕方ていろいろ方法を学んでそれをまたインタビューすると
まじつからうまくてまたたくして次に1月にどんなお話しが楽しみです。

今回の実習では、三好先生が楽しく授業をしてくださいました。
 質問をする時も記事を書く時も熱いことが大切だということ学びました。
 脳が覚えている内に記事を書く事、質問時疑問に思ったことはすぐに聞く事。この2つは新聞記者が欠かせない事だと分かりました。
 また、質問をする時と記事を書く時の特徴が見つかりました。

<質問>	(時間がなく聞きたいが多い時)	<記事>
緊張しない	<ul style="list-style-type: none"> まとめで聞く 	<ul style="list-style-type: none"> 熱いで書く
笑顔で乗り切る	<ul style="list-style-type: none"> 下調べが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 5W1Hを意識
熱いことが大切	<ul style="list-style-type: none"> 質問と同じように熱いことが大切! 	<ul style="list-style-type: none"> what (何を)
会話を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> 相手が喜んでくれるような話をする 	<ul style="list-style-type: none"> when (いつ)
正確に聞く	<ul style="list-style-type: none"> 質問は3つ 	<ul style="list-style-type: none"> where (どこで)
会話の初めは	<ul style="list-style-type: none"> テーマを中心に話す 	<ul style="list-style-type: none"> who (誰が)
日頃の出来事から	<ul style="list-style-type: none"> ※言っていない事は絶対に書かない 	<ul style="list-style-type: none"> why (なぜ)
相つちを打つ など...		<ul style="list-style-type: none"> how (〜とた)

疑問に思った事はすぐに聞く

今回の実習で、質問面、記事面での特徴が分かりました。その他の特徴について学ぶことができてました。今日学んだことを生かして、伝えるワークを良いものにしていきます! と思います!

新聞が完成するまでの工程や新聞について
のトリゼラなどについて知れたので、
勉強になった。

「逆三角形のほうそく」も、トライアの新聞を書
くにあたり、参考によろしく思う。

三好さんの話を聞いて、新聞社(神戸新聞社)の人たちいつも僕たちが寝ている時間帯に新聞を書いたり印刷したりしていることを知りました。少し聞いただけでは大変なのに、トップニュースがとびこんできたらそれをアタマに書きかえないといけないということを知っていたので、新聞社の人たちは書く力も必要だけど臨機応変にしていける力も必要だ"な"と思いました。

今日は神伊新聞者の方かきてくれ どうやって新聞をつくるのかとゆうにして
新聞作りをスタートするのは理解することができた、メモをとる時
下書きで書くなり色々な工夫がされていることが分かった。他にもインタビュー
の仕方などを聞き、よくそのことについて理解することができてとても
良かったです。

今回の講義では様々な基礎知識について学びました。

この知識をトライやるで生かして、良い自己事をつくつたいと思います。

具体的には、Xの仕方や、新聞の意味など聞くだけでも楽しめました。

今日、初めて新聞記者の方のお話を聞いてみて、知らないことをたくさん知ることができて良かった。今まで新聞にはあまり興味がなく読んでいたことが多かった。でも今日お話を聞かせてもらって、新聞に興味があることと色々なことを新聞で読んでみたいと思いました。

そして新聞、新聞記者のことをもっと知りたくなりました。

新聞についてたどと分かりやすく教えてほしいとおかいて、とても楽しくお話を聞くことができました。

また、一月にも来てもらえるということなので、それまでにある程度新聞について学んでいこうと思いました。

今日は、三好さんに新聞のことだけでなく
インタビューのことや、メモの取り方^{写真の撮り方}など様々なことを
たったの2時間でたくさん教えてもらいました。

普通に話しを聞くのではなく、三好さんが明るく
話してくれたり、本村先生や松村先生をおて
場の空気を軽くしたりしてくれたので、すごく楽しい

2時間の授業となりました。今日教えてもらったことを
今後の生活やトライやるにいかしたいなと思います。

私は、今日の話を聞いて、新聞を上手にかく方法が
分かりました。逆三角形を意識してかくというのをこれから、
見出しをかくときは生かしていきなす。そして、火曜日の
フィールドワークのときのインタビューは、今日学んでみたに
よろうと思いました。写真をとる時も、見る人が
よんでみたくなるような写真をとりました。今日聞いた
ことは、これから生かしていきなす。
今日は、貴重な話を聞かせていただき、ありがとうございました。

今日の話を聞いて新聞をつくる人はとてもいそがしいけど
いいこともあるんだなと思いました。特にこの内容でたそうと
してもう完成しているところに新しい特だねがきて
そのことを書きたいから記事を書き直したりする、というのは
一番印象深くおどろきました。

有名人にあえるかもしれないからなる人もいる、というのは
すごく意外でびっくりしました。

もししたら自分も将来三好さんみたいな仕事になるかも
れないので日頃からいろんなことに興味をもって
生活したいです。

今日はたぬになる授業になりました。新聞についての解説
だけなのかなと思っていたら、新聞記者になるとき、かけやな
る時まで道のりなどが知れて良かったぞ。

インタビューをする時には相手の気持ちを考えたり、色々な工夫を
付けたしたり大切な事がいっぱいあることが分かりました。

インタビューの仕方や、このイ作りの方がわかった

三好さんの話を聞き、インタビューの手順、人毛の取り方、写真のとり方など色々な事を教えてくださり、とてもいい授業でした。

見出を考える時はどうすればいいかなど、私たちに必要な事をたくさん教えてくださいました。

班では、中々インタビューの中身を考えられなかったが今回の話の中からヒントを探して班での活動が成功できればいいです。

三好先生のお話を聞いて、とても興味深いなと思った。インタビューの仕方、記事の書き方などなど。僕たちにも分かりやすいように大事なところだけを絞り込んで伝えてくれたので、分かりやすかったのけもちろんだから。なにより、すぐできることのように感じました。改めて新聞をつくっている人にしか分からない工夫や、新聞の魅力を聞けて、本当に良い時間だった。

インタビューのやり方や新聞の書き方、写真のとり方を知る事が出来て
全体にやりやすくなったと思うので"自分がする時にどんどん取り
こんで教わった通りにインタビューとかをしていきたいと
思いました。

取材の前に用意お質問は何個も考えず、ろつぐらいで
充分だと分かった。あとはその場の状況や景色など、取材を楽
しむことが大事だと知った。取材のときにはたった一つの記事
にも、いろいろな人が聞いて、以て記事を書くような苦勞が
たくさんあったと分かった。また、写真ではど真ん中よりも他
の場所や逆三角形に主役を置くと知った。記事の内容も
逆三角形のようにすると知ったので「逆三角形」がポイントだ
と思った。家でほんとうに新聞がそうになっているのか
石霍かめしてみたい。

三好正文先生のお話を聞いて、新聞の書き方は、見だしを書く
ときのポイントや、逆三角形など。写真の撮り方では、三分かつしたとき
や、三角形の形にはい置するなど、たくさんのお話を学ぶことができました。
2時間聞いていてもたいくつすることなく、ときには笑ったり
りとてもおもしろく楽しかったです。

新聞の名称をわかりやすく説明してくれて
いてよかった。SWIIT について「何が何を
なぜ」とのよりに 説明の を意識したい。インタビ
ュで 説明してくれたことを意識したいと思った。

今日の話を聞いて勉強になったことが多かったけど、まだ
分からないところもあったので言周べれたらと思います。新聞記
事のことだけじゃなくてカメラなどの撮り方だったり他にも勉強
になりました。また聞くだけじゃなくて、話し合ったりと楽しめる授
業でした。ありがとうございました。

神戸新聞の記者の貴重なお話を聞き、神戸新聞は兵庫県だけで取材を行っていたと思っていたので、東京や大阪にも取材班があることに驚いた。また、新聞で大切に行っている見出しも、おもしろくしようと何回もやりなおしていたが、おもしろいのみと見出しで内容が分かるのでは後者の方がいいと命がかったから、また見出しを考え直す。これからフィールドワークが始まるので、インタビューネタをうまく活用していい取材内容にしたいと思った。

新聞記者の三姉妹のお話を聞いてインタビューの上手な仕方、新聞の記事のまじり
などを学習しました。インタビューをお前にすれば何もない質問から聞かせるという僕の考えは少し
は違う答えが出てきて少し驚きでした。文章を書きかき見出しのまじり方の大切
な字び、今取り組んでいる新聞づくりにいかそうと思いはした。1月にも授業が
あるので、みんなを教えるのが楽しみです。

今日の講習会で自分の新聞はまだまだだなと思いました。

結局、体言止めとか使っているし、見出しもあまり一目で分かる内容じゃないから、直していかないといけないなと思いました。

自分たちが何気なく見ている新聞は、多くの人によって場所配置とか、写真とか記事選びとかからできていることが分かりました。

また、自分たちでは何時間もかかっている新聞を新聞社に勤めている人たちは短時間でっくっして、すごいなと思いました。

新聞の書き方では、いかに読み手が読やすく、
わかりやすくするためにどうしたらよいかなど、わかり
ました。

インタビューではキーワード"など"をメモしたり、複数に
インタビューするときには1人に聞くときもあるけれど、たいてい
はみんなに聞き、た"木かか" いっぱいしゃべらたりする
場がくりあがたり、楽しく変わるから全然しゃべらない人
でもしゃべるようになることがわかった。

6W2Hが"木かか"記事にびまることがわかった。

今日の授業で学んだことは、写真にはとりがたうたくさんあるということ。新聞が完成するまでに多くの手間がかかっていることを学びました。新聞記者は有名人に会いやすい！というのが印象に残りました。フルタイム前に使えることをたくさん教わったのでこの授業を活かせるようにしたいです。

ふり返り

ジョークとかもありませんの授業で、おもしろかった。あと芸能人、有名人にもお会いして「すご」と感じた。若者言葉が普通になる(アチカンサーが「ヤベ」よじらる)と言っていて、へーと思った。他にも、メモ、写真のことで、自分の知らない事が多くておもしろかった。三角構図は、言われてみると、意識している様に見える驚きもあった。僕も料理をとるとき、言われてみると考えた。

M先生とのやりとりも、レベルの高い会話をしている様に聞こえたのが、おもしろかった。

M先生がすぐ答えてくれていたのが、おもしろかった。

私は今日新聞の書き方、読み方、見出しの付け方など
たくさんを学びました。これまで新聞の見出しや前文（
リード）の意味など意識したことがありませんでした。今までよ
りも新聞に興味を持つました。今日学んだことを生かして
普段から新聞を読んだりして社会を知りたいと思います。

三好さんを見て思ったのは、少しかたくなそうな人そうだなーと言った。真面目な人
だけど少しこわいような印象もありました。

しかし、三好さんの言葉を聞いてみると、少し機械いじりが苦手で、
おもしろく、明るい人だなと思うようになりました。

実際私の父も以前で神戸新聞で働いていたので、当日までずっと、
わくわくしていました。

三好さんの言葉は少しおもしろさも入っていたけど、インタビューの時に必要な事や、
メモでのポイント、新聞がでるまでの流れもていねいに話を聞いてい

たるほど〜と内心めっちゃ興味深かったです。

中には新しい発見あり、今回教えてもらった事をインタビューの時に
使っていたと思えました。

新聞を作るにあたって言っていたことをそのまま書くんじゃなくて大切な部分を
はじめの方にもってきたり、読者が誤解しないように見出しを工夫する
ことなどが大切だと分かった。他にも記事に使う写真をとる工夫やインタ
ビューするときに明るく話すなどがあるとしてもよく分かった。今回、2時間もあ
げど三姉さんのがけーの話とかはとてもおもしろくて楽しかった。

今日は、神戸新聞者の三好さんか貴重な話をしてくれました。どの話も、今後のトライかるで、役に立つ

話で、とても自分にとってプラスになったと思います。

とてもおもしろい話ばかりで、楽しい時間になったと思います！今日学んだ事を、今後に生かせるようにしたいです。

今日は本当にありがとうございました！

すごく楽しかったし、分りやすかったです。質問の仕方、
メモの取り方、質問までの下調べなど、色々教えてもらいま
した。博物館での写真の取り方なども、3年生が新聞を見た時
に分りやすく、よきゆかに取ゆきようにしたりです。

三好先生と本村先生がやってきたインタビューの仕方を参考に
して、楽しくインタビューをしたと思います。

今日はインタビューの仕方・記事の書き方を教してくださってありがとうございます。
神戸新聞で最初はどんな事をするだろう? と思いながら話を聞きました。
大物アーティストや、有名人、はいりゆうさんに会ってインタビューをするって、
ビックリしました。

後、^山の桜井ゆうさん・相澤さきさんが一歩の方と糸吉くんになる
のは初めて分かりました。

インタビューの仕方では、メモを取る人と、質問する人、答える人の
3人で体馬乗してこんな質問するのかな? と思いました。

初めて知^{った}のはカタ・トッポ、アズ、コラシ、^{森羅}万象(ちんども)が初めて
知りました。

今日は、私たちのために中学校に来ていたときとてもうれしかたです。
私は、いろんなことをして新聞を作っているのは知っていたけれど、
こんなに大変だということは知らなくて驚きました。普段はあまり
読んだことがないけど前文や見出しを見るだけでたいたい内容が
知れるということを知ったのでこの機会に読みたいなと思いました。
これからトライやるウィークでインタビューをしたり、写真を撮ったりする時は
今日教えてもらった仕方や撮り方が出来たらいいなと思います。
三好さんが実際にインタビューをしているのを聞いた時、あいつちなどを
たくさんしていて、私も三好さんのようにたくさん出来たらいいなと
思いました。新聞社になれば有名人に会えるというのはとてもすごいな
と思いました。記者になるのに資格がいらないというのも驚きました。
今日知ったことを忘れず、これからの勉強などにかかすことが出来た
らいいなと思いました。

今回はとてもためになる授業でした。トライやるワークで新聞を作ったり写真をとったり、現地の人にしつもんやインタビューをするので、それにとて大切なことや、礼儀など、たくさんのお話を知りました。トライやるの16日以外に出る時に全てが使えるので、資料を見ながら、今日の授業を思い出して16日がんばりたいです。

授業も集中し、ねむたくならないし、かたくりしい授業でもあり、とてもいい勉強でした。たくさんの人にしつもんしたりなど全員で楽しい授業でした。みんなと話し合ったり、協力もできました。

今日は、新聞の記事の構成からインタビューの仕方まで、たくさんのことを知ることができて良かったです。新聞の文章のなかで「本言止めを使わないようにする」と聞いたとき「なるほど」と思っ、インタビューのときに場を明るくしたら、インタビューをする側も受ける側もやりやすくなるなあと思いました。そして、メモをとるときには、その場の雰囲気なども書いて、新聞を書くときに豊かな表現ができるといいな、と思いました。私は、インタビューの仕方に少し不安を感じていたので、今日教えてもらったポイントをおさえてしたいです。今日は、私が思っていた以上にたくさんのことを知ることができました。今日知ったことを16日のフィールドワークだけでなく、今後にもいかせていけたらいいな、と思います。

自分が思っていたよりも、新聞が発行されるまでの行程がたくくて驚いたし、やる事が多いのに手作業で行っている所もあって新聞記者の方ではすごいんだと思いました。

電車に「乗る」だけでなく「中に入る」など、普段しゃべる時にあまり使わない言葉を使ったり、「いつ」「どこで」「何を」「どのエタに」などを入れて具体的にしたりと、小さなエタがたくさん使われているのを知りました。これを知って新聞記者の方にはすごい苦勞をされているんだなと思いました。苦勞を知ったからこそ、これから新聞をもっと読んでみようと思いました。

若者はあまり新聞を読まないけど、新聞って意外と面白いものなので、読む人が増えれば良いな、と思います。

今回の講義では、新聞がどこあがるまでの手順を知り、新聞記者の力を失うことができました。特に記者になれば、有名人にあえ子というところからでも力的でした。また、フィールドワークで行うインタビューも全然やり方を知らず、たいがい不安だらけで、今日学んだSWTHを意識したり、少し関係のないことでの場を乗り越えればちゃんとインタビューができること知りました。今日教えて頂いたことをフィールドワークに活かすことができるとなりたいです。今日は本当にありがとうございました!!

新聞を作っている人は、いろんな有名人にあたりして、
いいなと思った。そして、新聞を作っている人は、

見出しにもこだわっていて、適当に決めず、内容
にあたり見出しで自分の考えを大切にしていることが分かる。
なので、見出しにもこだわりたいと思う。

インタビューの仕方はとても細々としていて、メモをとる人は大変じゃないかなと思、たけじ、ちゃんてコツとかもあって、それを使ってメモできた。写真のとり方は様々で、どれをどの方法でとればいいのかも、分かりやすかった。

今日は、新聞の書き方や写真の撮り方、見出しの書き方を学んで、インタビューをした時に簡単にメモをしてそれを見ながら思い出して新聞の見出しを大事に書くのが分かりました。写真を撮る時はさんぶんかんをして撮り方や物の位置などを決めてどこに何を置いて撮るのがよく分かりました。私は、天文科学館に行き、写真を撮り新聞にはるのに工夫して撮りました。

新聞のかき方だけでなく、インタビューの仕方のポイントなどに
ついても教えていたため、火曜日にインタビューする機会が
あるの下、緊張しすぎずに、インタビューしたい。

そして、新聞が最初の2行読むだけで、だいたいの内容が
分かる分、知らない事が決まらしたので、本当に良
い時間でした。

インタビューの細かい仕方について分かりました。でも、実際にやってみると、インタビューしながら、次のインタビューの内容や相手の答えを書いていかなければいけないので、とても難しいと思いました。三女子先生は、インタビューのスピードがとても速く、相づちも入れていたのですごくいいと思いました。そして、5W1Hを基本として質問することが大切ということが分かりました。また、新聞言記事には、「アズ」などの部分に分かれていることが分かりました。記事の見出しは、分かりやすく、逆三角形外に書けば良いことが分かりました。

新聞は事実を書いたかと思っていたけど、三女子正文先生の話と聞いて、記者の思いとかを見出しとか直接記事にしていて新聞に興味を培った。写真とるのが好きでよく旅行に行くとなん十枚ととっています。写真のとる方を教えていただいたので、日常でも新聞を作る時にも教えていたことと交れが、おぼろしい新聞を作り上げたいです。

新聞をつくるのに色々な人が手分けして

写真1枚にも工夫し見出しを見ただけで内容が
分かるようにするために考えたのだ

新聞をつくるのに多くの労力を使って頑張ってるんだ
と思いました

私は新聞にあまり興味がなかったけれど、今回のお話を聞いて、新聞を作ったり、取材したり、とても楽しいお仕事だと思いました。文字だらけで、よく分からない政治のこととかが書いてあって、ど"ちらか"と言えば、新聞のことはきらいだ"だけ"だけれどこの話をきっかけに"少し"読んでみようと思いました。インターネットでは、間違えた情報など"がある"けれど新聞では実際に話を聞いて分かりやすく、速く形になる"だけ"の紙だ"と"思うこともできるけれどその一枚には、とんでもない人がかかっていることを初めて知りました。

新聞記者の方の話を聞いてみて、新聞をつくるのにも、たくさん
がらないといけないことがあって、大変だなと知りました。見出して
興味をもってもらうためにとか、色んな工夫がされているなと思
いました。インタビューの仕方にも、たくさん工夫があって、実際にし
てみると、色んな事を考えながら、話さないといけないし、メモに
まとめないといけないので、トライやるウィークで、実際にインタ
ビューをする時に、心がけていきたいです。他にも、写真の
とり方など、今回たくさんのお話を学んだので、トライやるウィークに
も、他の事にも活かしていきたいです。

今日は神戸新聞社の三好先生が来てくださって、色々なお話を聞きました。私は正直新聞などに興味がなく、家が新聞をとっているけど、全く見たことがありませんでした。

でも今日のお話を聞いてみて、新聞に少し興味を持つたし、インタビューをするのが楽しそうだなと思いました。今トライヤルで新聞を制作していて、どんな感じにかけはいいのが、困っていたけど、お話を聞いて、すごい参考になりました。

とても授業も楽しくて、またまたお話を聞きたいなと思いました。今日の授業で学んだ事を生かしていけたらいいなと思います。貴重な2時間をありがとうございました。

三好さんがインタビューした実際の音声を聞かせてもらって、
あいづちが多いから、相手もたくさんのことを話してくれるのだ
なと思いました。それに、話の流れで自然に話するような所もあって、
やっぱりプロだなと感じました。分かりやすい写真のとり方も
教えていただいたので、フィールドワークの時はそれを意識して
が、こいい写真をとりたいです。見出しのつけ方では、具体的な
ことはあまり書かない方がいいのかなと思っていただけ、見出しだけ
で内容が分かるようにするのだと知って、とても参考になりました。

三好先生に学んだこと。

新聞を作るために、必要な事がたくさんありました。

文章力、写真をびりやったら良くとれるのか。

私は「新聞記者」がとってもカッコよく感じた。

色々な人から情報をきいて、記事にする。フェイスを
書いてはいけない。責任がとてもあると思いが、その分、

三好先生も言っていた通り、やりがいがあると思う、

将来親聞記者になるのもいいなと思った。